FUJIIRYOKI

家庭用

取扱説明書

DIETTRAINER CoRE

エクササイズマシーン

ダイエットトレーナー コア

DT-C1000

もくじ

安全上のご注意
製品を安全にお使いいただくために …… 1

各部のなまえとはたらき
本体 …… 4
表示パネル …… 5

組立て方
梱包内容 …… 6
設置について …… 6
アースについて …… 7
組立手順 …… 7
本体を移動する …… 8

使い方
ご使用前の準備 …… 9
体重センサー／人感センサーについて …… 9
製品特長 …… 10
乗り方 …… 10
自動コースで運動をはじめる …… 11
手動コースで運動をはじめる …… 13
メモリー登録について …… 15
言語設定について …… 16
フィットガイド …… 17

お手入れ・故障かなと思ったら・主な仕様
日常のお手入れ …… 19
故障かな？と思ったら …… 19
主な仕様 …… 19
Q&A …… 20
愛情点検・保証とアフターサービス …… 22

修理・サービスと保証 …… 裏表紙

- このたびは当社のダイエットトレーナー コア／DT−C1000をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
  特に安全上のご注意（1〜3ページ）はご使用前に必ずお読みください。
- この説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 包装に使用しているダンボールなどは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いいたします。

安全上のご注意

■製品を安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、**使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。**
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、**使用者が傷害を負うことが想定されるか、または *物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。**

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

<絵表示の例>

	△記号は、**警告・注意**を促す内容があることを告げるものです。 （左図の場合は一般的な警告・注意）
	⃠記号は、**禁止**の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を**強制**したり**指示**したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

- **この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。**

⚠ 警告

次の人は使用しない。

- 妊娠中の人　● 網膜剥離の人　● めまいの症状がある人

次の人は、使用前に医師に相談すること。

- ペースメーカなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植え込み型医用電気機器を使用している人
- 悪性しゅよう（腫瘍）のある人　● 心臓に障害のある人　● 出産直後の人
- 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
- 皮膚に創傷のある人　● 安静を必要とする人
- 体温38℃以上（有熱期）の人
  （例：急性炎症症状［けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など］の強い時期。衰弱している時。）
- 骨粗しょう（鬆）症の人、せきつい（脊椎）を骨折している人、捻挫・肉離れなどの急性［とう（疼）痛性］疾患の人
- 背骨（脊椎）に異常のある人、または背骨が左右に曲がっている人
- 椎間板ヘルニア症の人　● 腱鞘炎の人
- 上記以外に身体に特に異常を感じているとき

⚠警告

	次の方は必ず医師に相談の上、その指示にしたがうこと。 心臓病（狭心症、心筋梗塞など）、高血圧症、変形性関節症、妊娠中の方、その他身体に病気・障害のある方は、本機をご使用になる前に必ず専門の医師に相談すること。
	ペースメーカーなどの体内植え込み型医用電気機器を使用している人は、使用前に医師に相談すること。その他、使用前には必ず取扱説明書の注意事項を確認すること。
	可動部の隙間に手足や手足の指を近づけないこと。また、小さなお子様が近くにいないことを確認して使用すること。指をはさむなど思わぬ事故の原因となることがあります。
	本機は、平らで安定した場所に設置して使用すること。 不安定な場所で使用すると、本機にかかる負荷が偏り故障の原因になる他、身体に悪影響を及ぼすおそれがあります。また、共振・騒音の原因になります。
	動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先に点検・修理を依頼すること。感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。
	電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくはご購入先に修理を依頼すること。
	浴室など湿気の多い場所で使用したり、保管しない。 感電・火災・故障・カビ・サビの原因になります。
	絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。 発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。
	運動板の回りの隙間に飲食物や物などの異物を入れないこと。けがや製品の故障の原因となることがあります。
	交流100V以外は使用しないこと。火災・感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと。感電、ショート、発火の原因になります。
	電源コードを傷めないこと。 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないこと。また、重いものを載せたり、特に移動中は挟み込んだりしないこと。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。感電のおそれがあります。
	子供だけで使わせたり、自分で意思表示できない人には使用させないこと。また、幼児を近づけないこと。感電・けがをするおそれがあります。

安全上のご注意

⚠注意

健康な方でも下記のような人は必ず医師と相談のうえ使用する。
- 加齢により筋肉の衰えた人や痩身の人
- 骨や内臓に起因する腰痛の人
- 打ち身やねんざしやすい人
- 乗物酔いの激しい人
- 過去に心臓や内臓の手術をされた人

守らないと健康をそこなうおそれがあります。

使用中に身体に異常があらわれたり感じたときは、直ちに使用を中止し、医師に相談する。守らないと事故や体調不良のおそれがあります。

ひざを軽く曲げて使用すること。
注意：ひざを曲げずに直立姿勢で使用すると、頭が強くゆれたり、ひざ関節に負担がかかるおそれがあります。

操作ボタンが正常に動作することを確認してから使用する。
事故やけがのおそれがあります。

安全と健康のために、使い始めは弱めの刺激で、時間は5分以内を目安に使用すること。
体調不良のおそれがあります。

使用後は本体の主電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
お子様のいたずらなどによる事故の原因になります。

停電のときは直ちに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
再通電されたとき事故の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜くこと。
感電やショートして発火することがあります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜くこと。
ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜くこと。感電やけがをすることがあります。

付属品以外は使用しない。故障の原因になります。

無理な姿勢で使用しないこと。思わぬ事故の原因になります。

ベンジン・シンナー・アルコールなどの薬品でふかない。感電・引火の原因になります。

ストーブなど火気の近くで使用したり、たばこを吸いながら使用しないこと。
又ホットカーペット等の暖房器具の上で使わないこと。火災のおそれがあります。

ペットには使用しないこと。ペットがけがをしたり、体調不良の原因になります。

飲食をしながら使用しないこと。体調不良の原因や、飲食物がこぼれて故障の原因になります。

食後すぐや、飲酒後は使用しない。気分が悪くなったり、事故やけがのおそれがあります。

アースを確実に取り付ける。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

本体に2人以上乗らない。故障やけがのおそれがあります。

木床や畳など傷つきやすい床面で、引きずったり、キャスターを使って移動をしない。
床面に傷がつくおそれがあります。

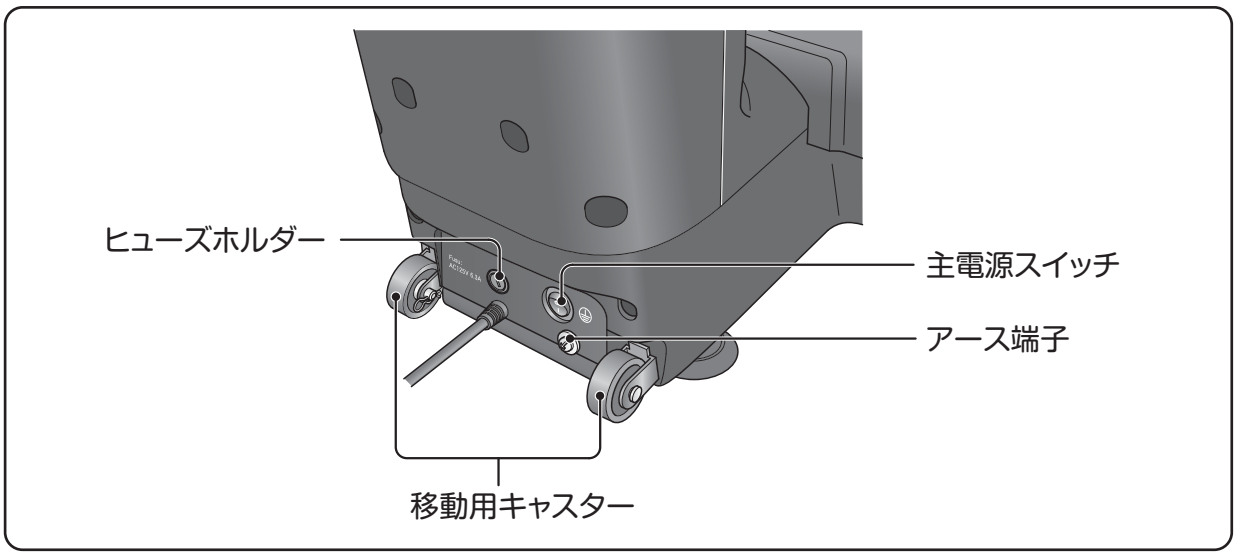
本体を倒したり、強い衝撃を与えない。故障やけがのおそれがあります。

本機の上で飛び跳ねたりしない。故障やけがのおそれがあります。

各部のなまえとはたらき

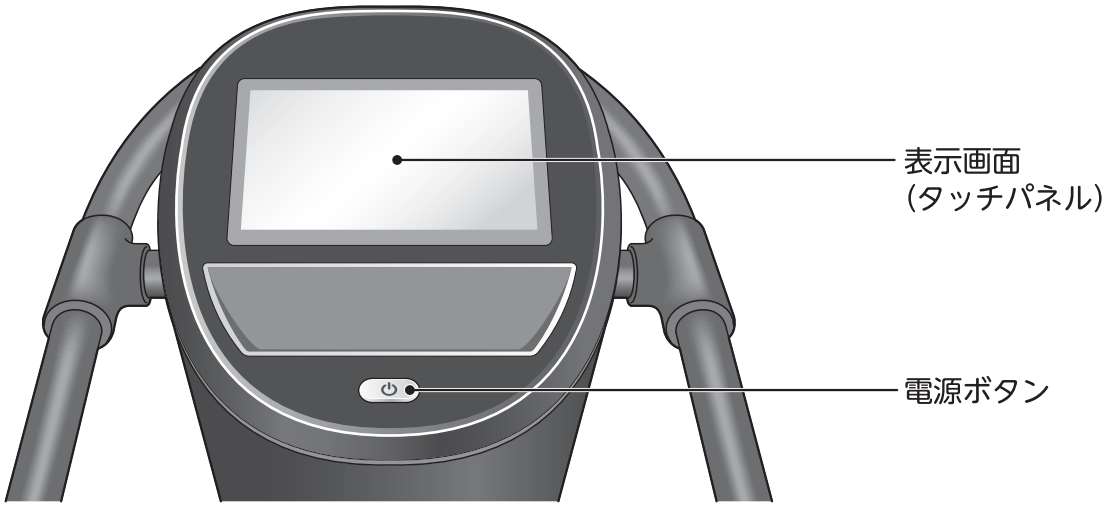
つづく

■本体

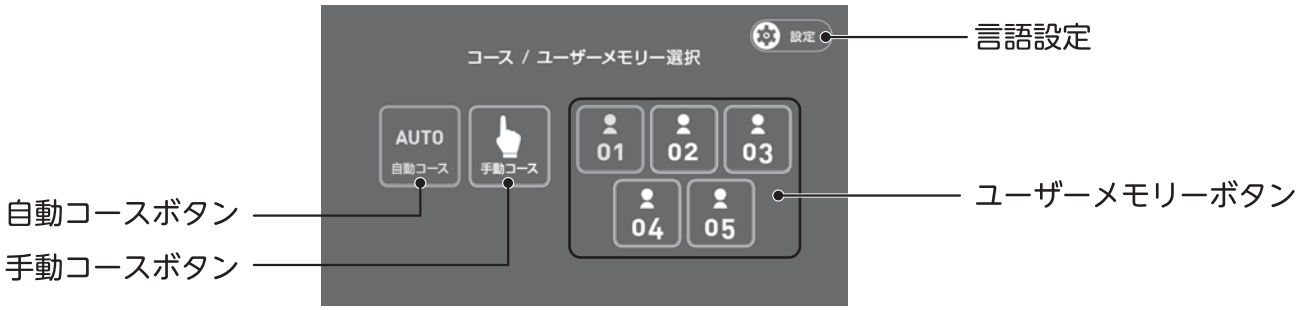


各部のなまえとはたらき

■表示パネル



● 表示画面［表示例：コース / ユーザーメモリー選択画面］



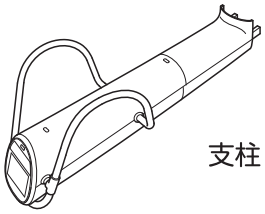
組立て方

つづく

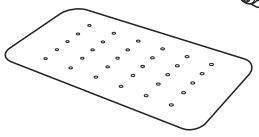
■梱包内容

(1)部品一覧

本体



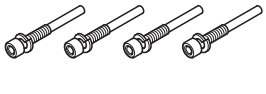
支柱



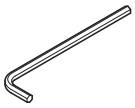
敷きマット

(2)ネジ・工具一覧

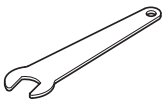
名　称	サイズ	数量	付属場所
六角穴付ボルト (スプリングワッシャー付)	M6×50mm	4	ビニール袋
六角レンチ	M5	1	
スパナ	M10	1	



六角穴付ボルト

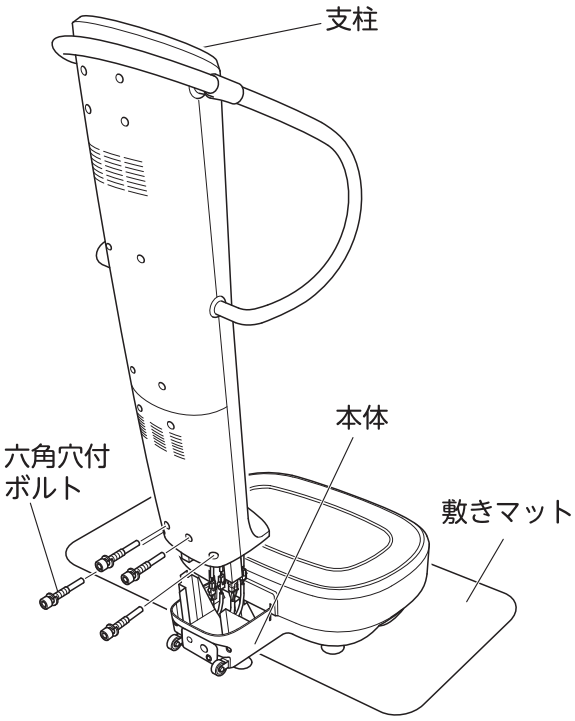


六角レンチ



スパナ

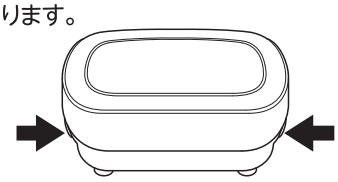
⚠ 注意　必ず付属の専用工具を使用する



⚠ 注意

本体は横のへこみ部分をしっかり持って動かす

違う場所を持つと破損するおそれがあります。

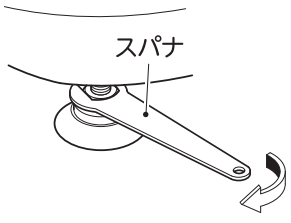


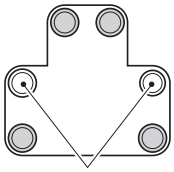
■設置について

※共振や騒音をおさえるため、付属の敷きマットを本機の下に敷いてください。

※本機は、水平で硬い床にがたつかないように設置してください。

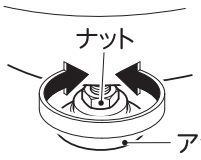
①図のように、前後4箇所のアジャスター脚根元の六角ナットをスパナでゆるめる。



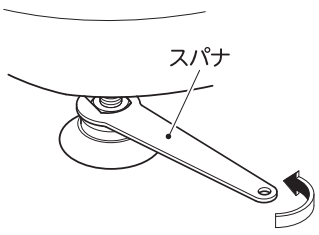


※中央2箇所のアジャスター脚は工場にて水平をとっているためゆるめないでください。

②アジャスター脚を回してがたつきをなくす。



③調整が終わったら、六角ナットをスパナでしっかり締めなおす。



⚠ 注意

アジャスター脚の調整は重要です。

本体がガタつくと異常な振動や異音の原因になります。

組立て方

■アースについて

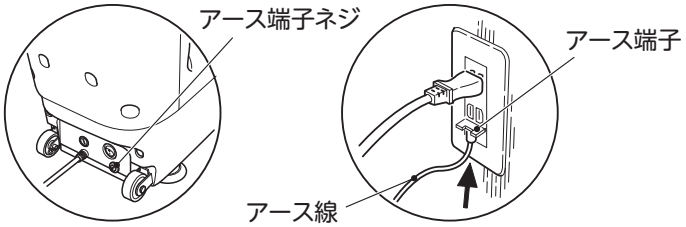
⚠ 注意	アースを確実に取り付ける。 アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。 アースの取り付けは、ご購入先に相談ください。

⚠ 接続してはいけないところ

ガ　ス　管 … 爆発や引火の危険があります。
電話線や避雷針 … 落雷のとき危険です。
水　道　管 … 途中がプラスチックの場合はアースになりません。

電源コンセントにアース端子がある場合

- アース線を本体のアース端子ネジと電源コンセントのアース端子に取り付けてください。
（アース線は付属しておりません。別途ご購入ください。）



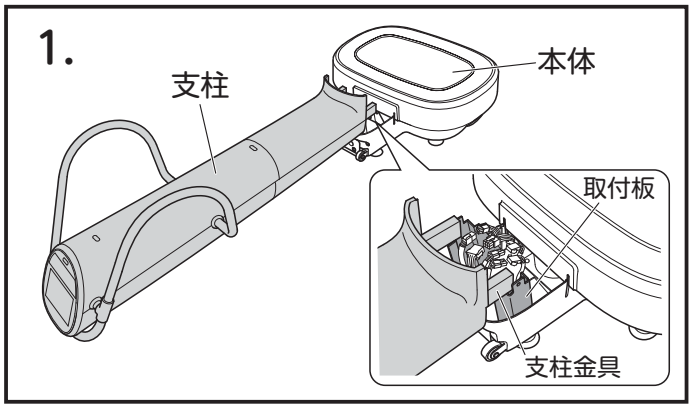
電源コンセントにアース端子がない場合

- ご購入先・電気工事店に相談し、アース工事（第3種接地工事・有料）をしてください。

■組立手順

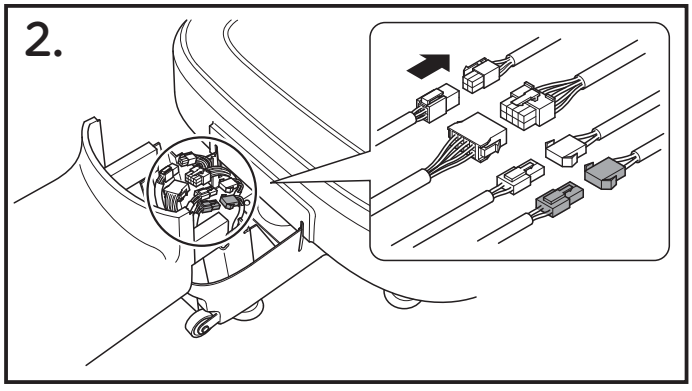
⚠ 注意	組立てを行う際は、必ず2人以上で作業してください。

1. 支柱の支柱金具が本体の取付板に乗る位置に支柱を置く



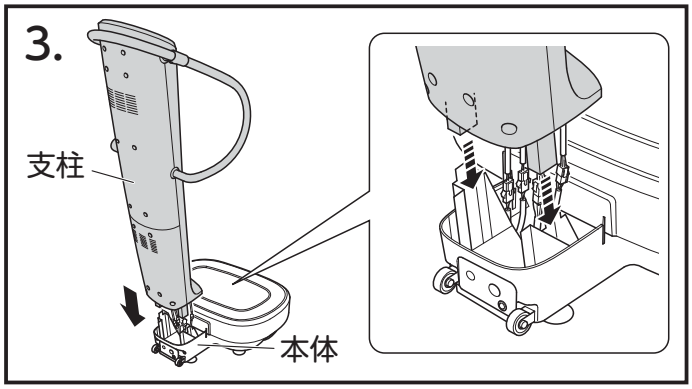
2. 支柱側のコネクタ4ヵ所を本体側のコネクタにそれぞれ接続する

- コネクタは、同じ色・形状をよく確認して接続してください。また、コネクターの接続は突起につめが引っかかるまで確実に行なってください。

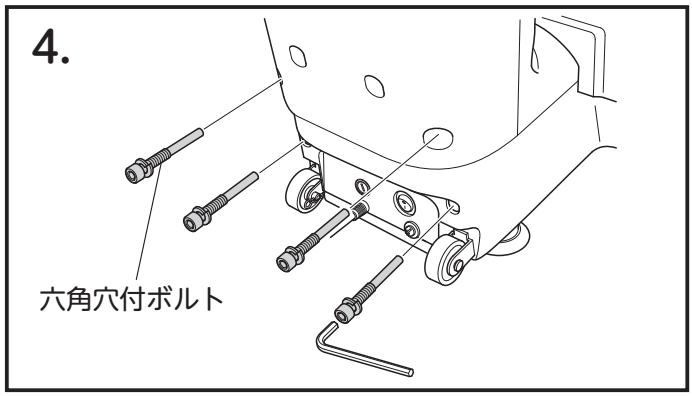


3. 支柱を起こし、支柱金具を本体の取付板に差し込み、取り付ける

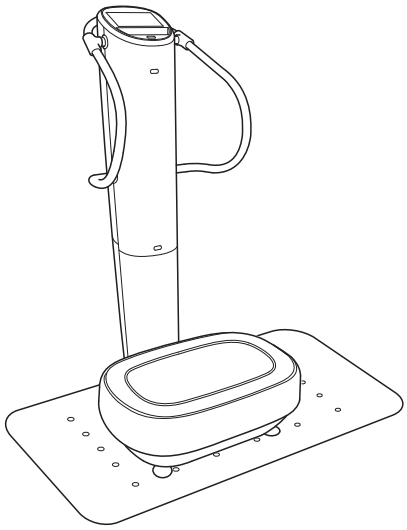
⚠ 注意	コネクタのケーブルを支柱と本体で挟みこまないように気をつけてください。



4. 六角穴付ボルトで仮固定し、4箇所全て組み付けた後、本締めする



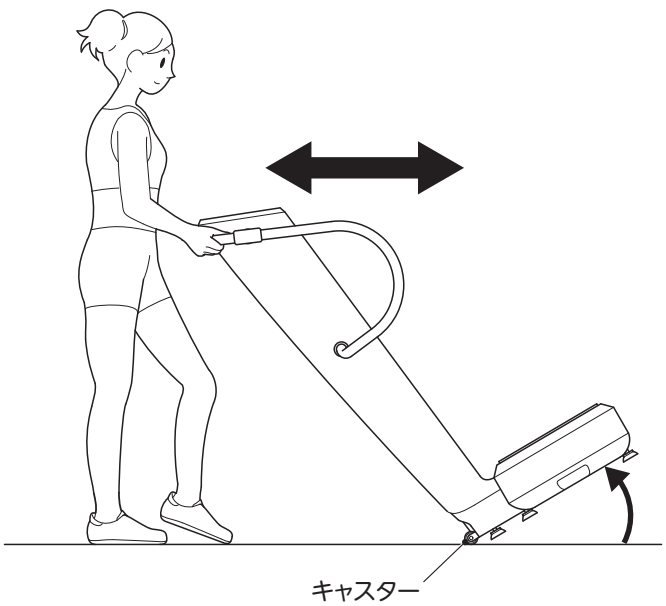
完成図



⚠ 注意	●本体にガタつき、傾きがないか確認してから使用してください。 ●本体にがたつきがある場合は、「設置について」(P.6) をご参照ください。

■本体を移動する

⚠ 注意	●**人や物を乗せて移動しない。** 故障やけがのおそれがあります。 ●**木床や畳など傷つきやすい床面で、引きずったり、キャスターを使って移動をしない。** 床面に傷がつくおそれがあります。 ●**電源コードを脚に引っ掛けたり、キャスターに巻き込まない。** けがのおそれがあります。



⚠ 注意	●前面を浮かせる際は重量があるので注意してください。 ●足元に十分注意して、ゆっくりと下ろしてください。

使い方

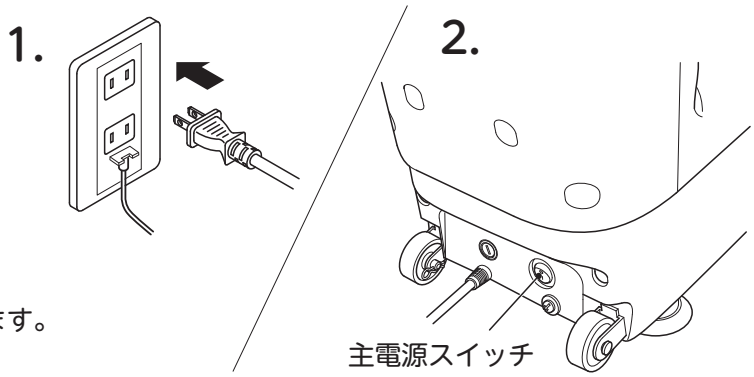
■ご使用前の準備

⚠ 警告	●**交流100V以外の電源は使用しない。**　火災・感電の原因になります。 ●**破損している電源コードや電源プラグを使用しない。** 感電やショート・火災の原因になります。 破損している場合は、ご購入先または当社の「お客様相談窓口」に修理を依頼してください。 ●**電源プラグは確実に根元まで差し込み、ゴミを付着させない。** 感電・ショート・発火の原因になります。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

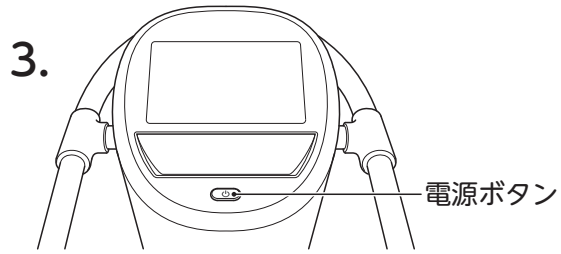
2. 主電源スイッチを「ON」にする

※主電源スイッチは本体後側の下部にあります。



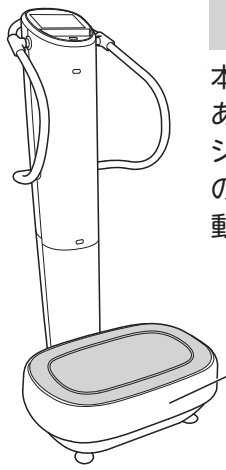
3. 電源ボタンを押して電源を入れる

※ロゴマークが数秒間表示された後、「コース/ユーザーメモリー選択画面」が表示されます。



■体重センサー/人感センサーについて

本機には、安全上2つのセンサーがついています。



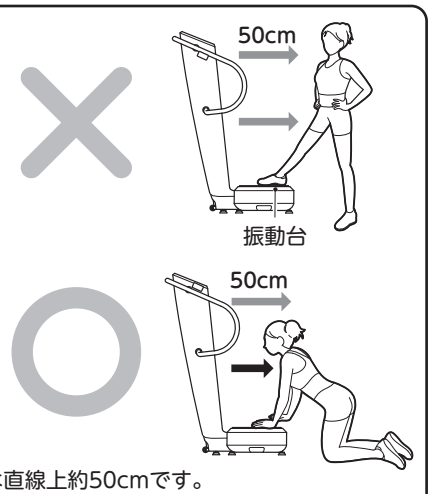
体重センサー

本体内部にセンサーがあり、動作開始前のセンシング時に約30kg以上の体重がかからないと動作しません。

【体重センサー エラー画面】

人感センサー

支柱に2箇所センサーがあります。
動作中にセンサー範囲から離れると、安全のため動作が弱くなり、約30秒後に電源が切れます。



※センサー検知範囲については直線上約50cmです。
上下いずれかのセンサーが人体を検知すると、通常に動作します。

■製品特長

● **多彩なトレーニングが可能**
使い方の少しの変化で、運動する筋肉の部位や運動の量を変えることができます。

● **LCD表示**
デジタル表示でプログラム、タイマー、音波（Hz）、振動（強度）を表示します。

● **プログラム設定**
4つの自動コースと手動モードから
身体にあったものを選ぶことができます。

プログラム１：エクササイズモード
プログラム２：体幹モード
プログラム３：ダイエットモード
プログラム４：トレーニングモード
プログラム５：手動モード

● **音波（Hz）調整**
手動モードでは３～60ヘルツまで調節が可能です。
自動モードではあらかじめプログラムされたパターンで動作します。

● **振動（強度）調節**
手動モードでは、0～99%まで調節が可能です。
自動モードでは、「弱」・「中」・「強」の3段階から選択できます。（初期設定：中）

● **タイマー設定**
タイマー設定は、手動モードと自動モード とも3・5・10分から選択が可能です。

● **安全設計**
センサーで人が乗っていることを確認する安全仕様です。
詳細は、体重センサー/人感センサーについて（P.9）をご参照ください。

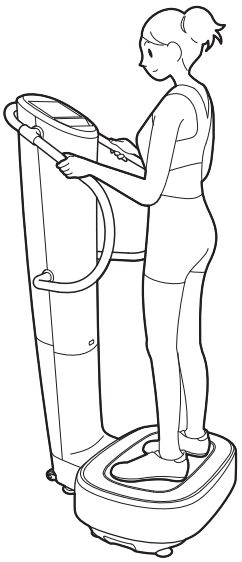
● **メモリー機能**
お好みの設定を5種類まで登録できます。詳細はメモリー登録について（P.15）をご参照ください。

●**使用範囲**
体重約30kg～約120kgの方までご利用いただけます。

●**らくらく移動**
本機にはキャスターが付いていますので楽に移動させることができます。
※木床や畳に傷が付くことがありますのでご注意ください。

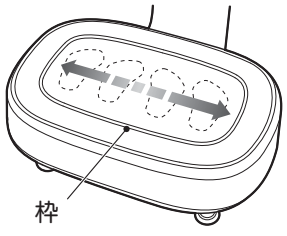
■乗り方

イラストのように、本機の中央に両足を閉じて立ち
安全のため両手で手すりを握ってください。
詳細は、フィットガイド（P.17、18）をご参照ください。



⚠ 注意

- **ひざを曲げずに直立姿勢で使用すると、頭が強くゆれたり、ひざ関節に負担がかかるおそれがあります。**
- **必ず人感センサーが感知できる位置に乗ってからご使用ください。**



枠の中に立ってお使いください。
枠の外に立つと、誤作動の原因に
なります。

- **安全と健康のために、使い始めは弱い刺激で、時間は5分以内を目安に使用してください。体に悪影響を及ぼすおそれがあります。**

使い方

■自動コースで運動をはじめる

1. 電源ボタンを押して電源を入れる

⚠ 注意	運動板から降りて30秒たつと電源は自動的に切れます。その際は、再度電源ボタンを押して、電源を入れなおしてください。

※ロゴマークが数秒表示された後、
コース／ユーザーメモリー選択画面が表示されます。

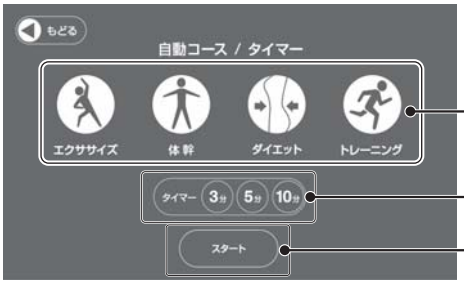
2. AUTO 自動コース を押す

3. コース、タイマーを選択する

お好みのコース、タイマーを選択し、スタートボタンを押してください。

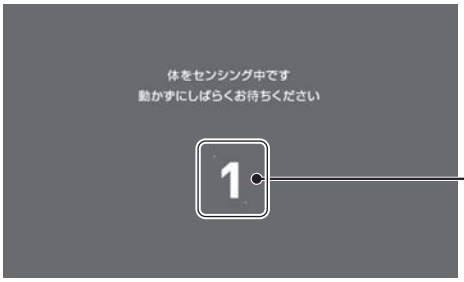
※コース開始後、タイマーを変更することはできません。

- エクササイズモード
  全身を刺激するバイブレーションプログラムです。
- 体幹モード
  体幹部への刺激を目的とした、バイブレーションプログラムです。
- ダイエットモード
  お腹/太もも/お尻への刺激を中心としたバイブレーションプログラムです。
- トレーニングモード
  全身をハードに刺激するバイブレーションプログラムです。



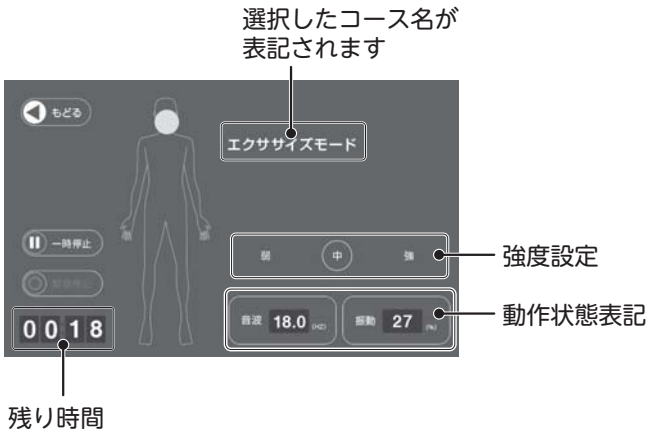
▼

人が乗っているかをセンシングします。
動かずにしばらくお待ちください。



4. 選択したコースが始まる

動作中、「弱」・「中」・「強」3段階の調節が可能です。
動作開始時は「中」に設定されています。



ご使用中に動作を止めたい場合は、一時停止または緊急停止、または電源ボタンを押してください。

ただちに停止する場合

緊急停止ボタン、または電源ボタンを押してください。

一時停止する場合

一時停止ボタンを押してください。

5. 動作が終了する

自動コースが終了すると、メモリー登録画面に切り替わります。
詳細はメモリー登録について(P.15)をご参照ください。
※メモリー登録しない場合は左上の「もどる」を押してください。

使い方

■手動コースで運動をはじめる

1. 電源ボタンを押して電源を入れる

⚠ 注意	運動板から降りて30秒たつと電源は自動的に切れます。その際は、再度電源ボタンを押して、電源を入れなおしてください。

※ロゴマークが数秒表示された後、
コース／ユーザーメモリー選択画面が表示されます。

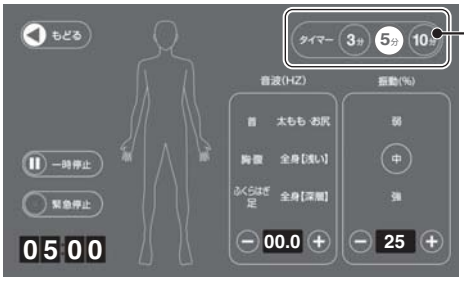
2. 手動コース を押す

手動コース初期画面に切り替わります。

3. タイマー、部位を選択する

タイマー、部位を選択してください。部位を選択するとセンシングが始まります。

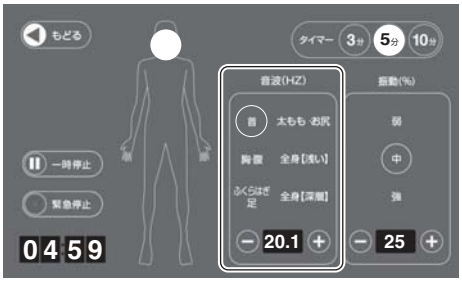
※コース開始後、タイマーを変更することはできません。



【手動コース　初期画面】

4. 選択した手動コースが始まる

動作中は、部位、音波（Hz）、振動（強度）を自由に変更できます。

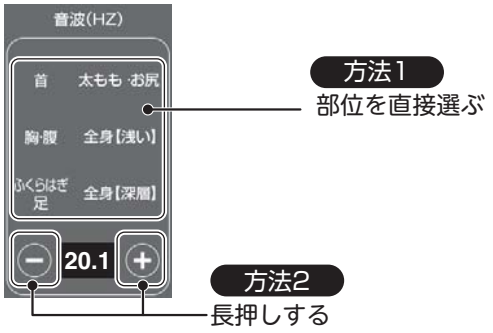


部位の選択と音波の設定

音波は+、−、または部位を押して変更します。

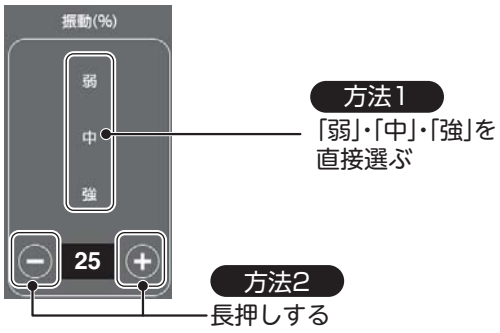
音波（Hz）によって、振動する部位の目安は決まっています。

3〜 5.5Hz ：全身（浅い）
5.6〜 8.5Hz ：胸・腹
8.6〜12.5Hz ：太もも・お尻
12.6〜29.9Hz ：首
30〜42.9Hz ：ふくらはぎ・足
43〜 60Hz ：全身（深層）

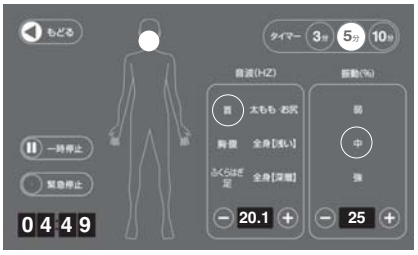


振動（強度）の設定

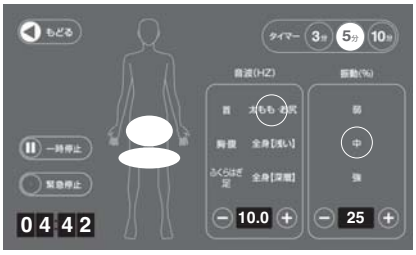
振動は+、−、または「弱」・「中」・「強」を押して変更します。
動作開始時は「中」に設定されています。



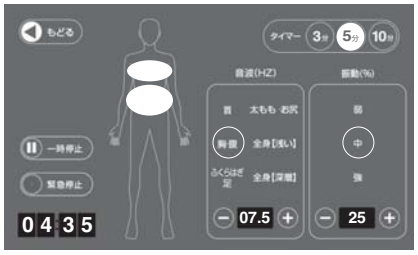
（例）



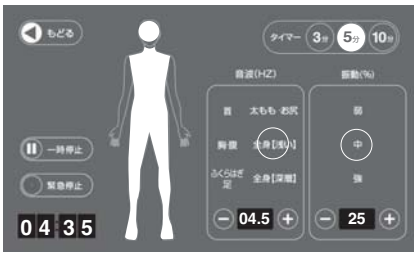
【手動コース「首」動作中画面】



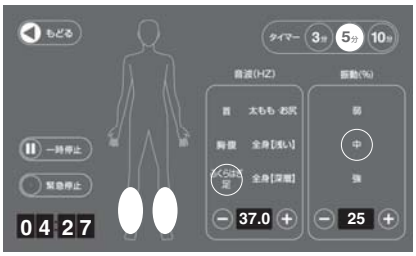
【手動コース「太もも･お尻」動作中画面】



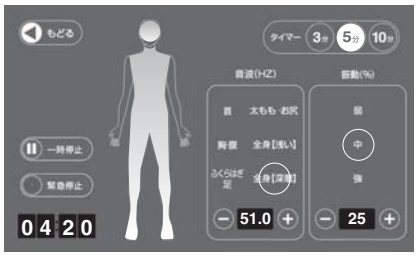
【手動コース「胸･腹」動作中画面】



【手動コース「全身(浅い)」動作中画面】



【手動コース「ふくらはぎ･足」動作中画面】



【手動コース「全身(深層)」動作中画面】

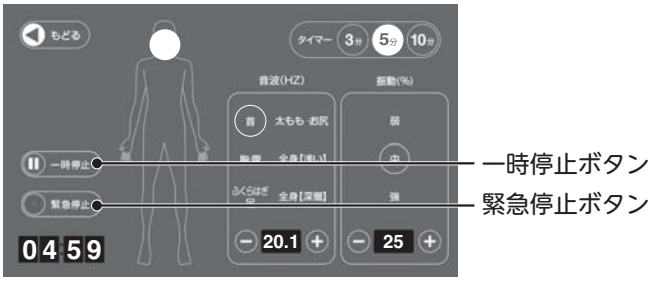
ご使用中に動作を止めたい場合は、一時停止または緊急停止、または電源ボタンを押してください。

ただちに停止する場合

緊急停止ボタン、または電源ボタンを押してください。

一時停止する場合

一時停止ボタンを押してください。



使い方

5. 動作が終了する

手動コースが終了すると、メモリー登録画面に切り替わります。
※メモリー登録しない場合は左上の「もどる」を押してください。

■メモリー登録について

お好みのコース、部位、音波(Hz)、振動(%）を登録することにより、独自のコースを設定することができます。
自動コース、手動コース合わせて5種類まで登録できます。

メモリー登録できるもの

コース終了時の状態をメモリー登録します。

■自動コース

・3分、5分、10分のタイマー設定
・エクササイズ、体幹、ダイエット、トレーニングのコースタイプ
・振動（強度）

■手動コース

・3分、5分、10分のタイマー設定
・部位
・音波（Hz）
・振動（強度）

メモリー登録のしかた

1. 01～05を選択する

自動コース、または手動コースが終わるとメモリー登録画面が表示されます。
メモリー登録をする場合は01～05の未登録の番号を押してください。すべて登録済の場合は、いずれかの登録番号を押して上書きしてください。
※メモリー登録しない場合は左上の「もどる」を押してください。

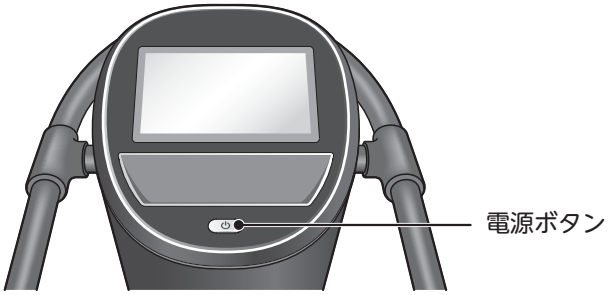
2. 「確認」を押す

「確認」を押さないと登録されません。
「確認」を押さずに「もどる」を押すと番号選択にもどります。

メモリー登録したコースのはじめかた

1. 電源ボタンを押して電源を入れる

⚠ 注意	運動板から降りて30秒たつと電源は自動的に切れます。その際は、再度電源ボタンを押して、電源を入れなおしてください。



※ロゴマークが数秒表示された後、
コース／ユーザーメモリー選択画面が表示されます。

2. 01～05から選択する

3. 登録されているコースがはじまる

■言語設定について

表示言語を、日本語と英語に切り替えることができます。
※初期設定は日本語に設定されています。

1. 設定ボタンを押す

設定ボタン

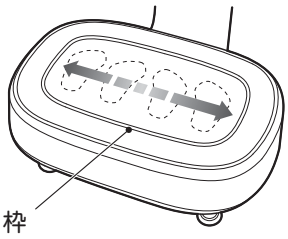
2. 言語を選ぶ

言語を選んだら、「もどる」ボタンを押し、
コース／ユーザーメモリー選択画面にもどります。

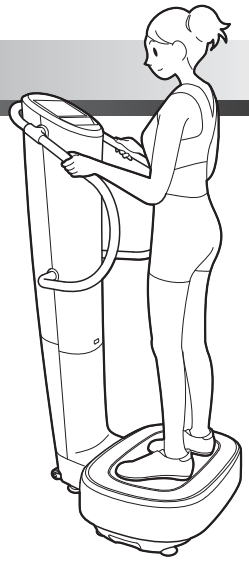
使い方

■フィットガイド

～ 今日から楽しくトレーニング ～

⚠ 注意	●ひざを曲げずに直立姿勢で使用すると、頭が強くゆれたり、ひざ関節に負担がかかるおそれがあります。 ●必ず人感センサーが感知できる位置に乗ってからご使用ください。(P.9)  枠の中に立ってお使いください。 枠の外に立つと、誤作動の原因になります。 ●安全と健康のために、使い始めは弱い刺激で、時間は5分以内を目安に使用してください。体に悪影響を及ぼすおそれがあります。

基本姿勢

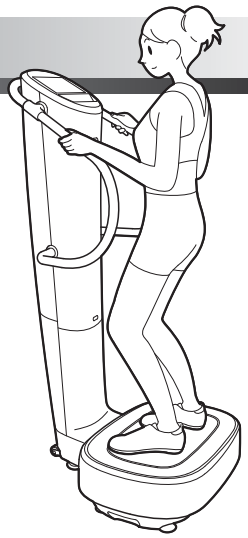


イラストのように、軽くひざを曲げて本機の中央に両足を閉じて立ち安全のため両手で手すりを握ってください。

⚠ 注意	ひざを曲げずに直立姿勢で使用すると、頭が強くゆれたり、ひざ関節に負担がかかるおそれがあります。

全身の運動になります。

中腰式

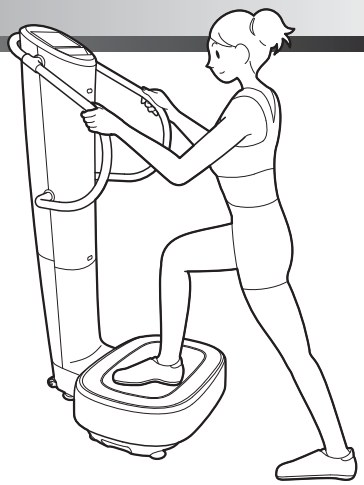


イラストのように、本機の上で軽く中腰になり両手で手すりを握ってください。

⚠ 注意	必要以上に振動を与えると、体に悪影響を及ぼすおそれがあります。

背筋、上腕、大腿筋、腓腹筋の運動になります。

片足式



イラストのように、本機の正面に立ち足を乗せ、
両手で手すりを握ってください。

(操作のご注意)
センシング終了後に体勢を変えてください。

大腿筋、腓腹筋の運動になります。

椅子式

イラストのように、本機の中央に腰を掛け、
足を伸ばし、両手で手すりを握ってください。

⚠ 注意	必要以上に振動を与えると、体に悪影響を及ぼすおそれがあります。

腹筋、大臀筋の運動になります。

両手式

イラストのように、本機正面に向かい、腕を軽く曲げた
状態で両手を乗せてください。
ひざをつき、腰は上げた状態です。

⚠ 注意	ひじを曲げずに伸ばして使用すると、頭が強くゆれたり、ひじ関節に負担がかかるおそれがあります。

(操作のご注意)
センシング終了後に体勢を変えてください。

**前腕、上腕及び上半身の
運動になります。**

お手入れ・故障かなと思ったら・主な仕様

■日常のお手入れ

日常のお手入れを定期的に行ってください。
主なお手入れ方法は次の3 項目です。

- 設置場所について、湿気の多い場所及び火気のそばに置かないでください。
- 使用後、柔らかい布で表面の汚れをきれいに拭いてください。
- 長時間使用しないときは、主電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。

■故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、この章をご覧になり次のことをお確かめください。

	症　　状	原　　因	対 処 方 法
1	表示パネルが 点灯しない	◆外部電源が入力されていない ◆本体主電源スイッチが入っていない	→ 電源プラグが抜けていないかまたは本体主電源スイッチが切れていないか、確認してください
2	作動中、 異常な音が出る	◆接触している物がある ◆重量オーバーしている ◆床にガタツキなく設置されていない	→ 障害物を除去してください → 必ず仕様にあった重量でご利用ください → 6ページの「設置について」を参考にしてアジャスター脚を調整してください
3	本体の安定性が悪い	◆床にガタツキなく設置されていない	→ 6ページの「設置について」を参考にしてアジャスター脚を調整してください

■主な仕様

製　品　名		ダイエットトレーナー コア
製　品　番　号		DT−C1000
手動モードの音波設定範囲		3（最小）～ 60（最大）
電　源	電　圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	消費電力	320W（無負荷時）
本　体　寸　法		約幅 675㎜ X 奥行 835㎜ X 高さ 1360㎜
本　体　質　量		約55kg
生　産　国		中国

※本製品は、改良のため予告なく、仕様等を変更することがあります。

Q&A

つづく

Q：電気代はどれくらいですか？

A：1日30分行った場合、1ヶ月約100円です。
電気料金目安単価：27円/kWh（税込み）で算出。（2018年4月現在、当社調べ）

Q：他のトレーニング器具を使いながらの使用はできますか？

A：怪我や故障の原因になりますので、おやめください。

Q：センシングでエラーが出るのですが…

A：体重センサー／人感センサーが検知できる乗り方でセンシングを行ってください。
詳細はP.9をご参照ください。

Q：振動音が大きいのですが故障ではないですか？

A：ブーン、ウォーンという音がしますが異常ではありません。
また、音波（Hz）や振動（強度）及びポージングによって音の大きさは変動します。

Q：気分が悪くなって使用できないのですが。

A：すぐに使用をやめて休憩してください。人の体重やトレーニング姿勢により振動の影響に個人差があります。再度使われる際は前回の使用より弱めに設定し、短い時間から慣れていくことをお勧めします。

Q：チャイルドロックは付いていますか？

A：付いていません。安全のため体重センサー／人感センサーが付いておりますが、子供だけで使わせたり、自分で意思表示のできない人には使用させないようにご注意ください。

Q&A

Q：**体重制限などはありますか？**

A：体重約30～120kgになります。

Q：**振動音はどれくらいですか？家電/生活音で例えるとどのくらいですか？**

A：動作内容にもよりますが自動コースのエクササイズモード（中）で洗濯機と同じ位の音です。
気になる場合は、音波（Hz）や振動（強度）を抑えてご使用いただくか、防振性の高い市販のマットの使用をおすすめします。

Q：**病院に通院しているけど、使用しても良いですか？**

A：通院先の医師と相談の上、使用してください。

Q：**使用時間の制限はありますか？**

A：目安として、1回10分以内で1日3回までにしてください。

Q：**支柱が大きくゆれる**

A：支柱の取付、アジャスターの調整に問題が無くても音波（Ｈｚ）や振動（強度）により、支柱が大きく揺れることがあります。

愛情点検

⚠注意

しばらく使用していなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、本体が正常に動作することを確認してから使用する。 事故やけがのおそれがあります。

愛情点検
長年ご使用の場合は点検をぜひ!

このような症状はありませんか。

- こげくさい臭いがする。
- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため本体の電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先、または当社のお客様相談窓口までお問い合わせください。

保証とアフターサービス

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、まずご購入先にご連絡ください

- 保証書
  お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間　保証書に記載

- 補修用性能部品の保有期間
  当社は本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年間保有しています。
  性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

P19 に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先にご連絡ください。

- 保証期間中に修理を依頼される場合
  ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。
  （なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）
- 保証期間を過ぎて修理を依頼される場合
  まずご購入先にご相談ください。
  修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。
- その他ご不明な点がある場合
  アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先、または当社のお客様相談窓口までお問い合わせください。
- 修理料金の仕組み
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。修理料金は、ご購入先、または当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

技術料　診断･故障個所の修理および部品交換･調整･修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

0120 フリーダイヤル **0120-027-612**　受付：月曜～金曜　午前９時～午後５時30分
※但し、土日祝日、年末年始は休ませていただきます。

FAX･Webでの受付けも行っております。

FAX番号　06-4793-0818

Web　フジ医療器ホームページのお問い合わせフォームにて受付けております。
フジ医療器ホームページ　**www.fujiiryoki.co.jp**

FAX･Webでの受付けは24時間行っておりますが､お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

美と健康の総合メーカー
株式会社フジ医療器
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL

C1000-04-190831